

種別： 男子 **大会名** 平成18年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会  
**第41回全日本高等学校男子ソフトボール選手権大会** 試合番号 41

試合日：平成18年8月8日	第4日目	第1試合	準決勝	大阪府寝屋川市	寝屋川公園第二野球場
開始時間	8時30分	終了時間	11時15分	中断時間	試合時間
(球審)	留奥 陽子	(一塁塁審)	相坂 績	(二塁塁審)	新田八重子
				(三塁塁審)	玉井 昇進
				(副審)	田中 武

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計	安打	失策
清風南海高等学校 (大阪)	0	7	0	4	1	7	5								24	19	0
長崎県立大村工業高等学校 (長崎)	0	0	1	1	2	0	3								7	14	4

チーム名	投手	捕手
清風南海高等学校 (大阪)	山田 昌樹・高田 一平・中本 隆信	小林 大輝
長崎県立大村工業高等学校 (長崎)	谷脇 靖雄・太江田 隼・谷脇 靖雄	山口 竜一

チーム名	本塁打	三塁打	二塁打
清風南海高等学校 (大阪)	北村 望、村田 佳亮	梅田 康平	戒野 和之、北村 望、塩見 和之
長崎県立大村工業高等学校 (長崎)			大杉 真章

(戦評) 清風南海高等学校 梅田、北村の先制長打で決勝へ！！

清風南海は2回一死満塁の好機に九番梅田が走者一掃の三塁打、さらに三番北村が3点ランニングホームランを放つなど、この回7点、その後も村田のレフトオーバーの本塁打など長打攻勢で加点し、決勝へ駒を進めた。また北村は6打数5安打の大活躍であった。

大村工業高等学校は3回四番の前川の犠牲フライで1点、尚も5回には途中出場の六番大杉が左中間を破る二塁打で2点。7回にも五番井手、代打の御厨のタイムリーで3点を挙げるも届かず試合に敗れた。



公式記録員 北原さやか  
 戦評記者 西越喜美久